

夏レジャーの季節がやってきた!

初めてのキャンプを とことん楽しもう!



3密を避けて楽しめるキャンプの人気の続く中、これから始めようと検討中の人も多いと思います。今回、そんな初めてのさんのキャンプデビューを応援するためにキャンプを愛する用品店のスタッフからいろいろなアドバイスをもらいました。

形からより体験から
まずは楽しさを知る



コロナ禍を機にキャンプに興味を持ったものの、ハードルの高さを感じて一歩が踏み出せない。そんな人も多いのではないだろうか。その理由について、キャンプ用品店「キャンプデポ 鹿中央通り店」の辻本店長にたずねてみると、「キャンプでは何が必要なのかがよくわからず、初期コストも高いという印象を持たれるから」と答えてくれました。

確かにキャンプを満喫するには多くの道具がある。でも、最初から一式揃える必要はありません。「キャンプをやってみたら自分には合わなかった」と思う人もいますので、初回は道具を借りて「キャンプとは」をひとまず体感。結果、楽しかったら自分の道具を揃えればよいのです。初キャンプが好印象なら道具も真剣に選びますし、愛着も芽生えます。「じっくりとキャンプ愛好家に育っていただけると道具を売る側としても長いお付き合いができるので、初回から気合いを入れ過ぎなくてもOKです」と辻本店長は初心者の方を押すアドバイスをくれました。

ちなみに、キャンプデポは初心者と中級者がコアターゲットの専門店なので、これからキャンプを始めよう、あるいは続けたいと考えている人にとっては頼もしい味方になってくれます。扱っているブランドは、エントリーモデルが豊富な定番系からおしゃれキャンパーに人気のものが中心で、買いやすい価格帯にも要注目。スタッフはアウトドア好きなので、ためになる情報もたくさんもらえます。「単なる道具のPRだけでなく、「この道具を使えばこんな体験ができる」という深みのある提案で皆さんの心にワクワク感を醸成させます」と辻本店長。オープンから約1年が経ち、有益な情報交換ができるコミュニティスペースとしてこの店を活用し始めているキャンパーも多いようです。

初めてのキャンプをより快適に楽しむコツ

快適に過ごすためのちょっとしたコツを実践すると、キャンプに対する印象もグッとよくなって、どんどんのめり込むようになります。

1

キャンプ経験者と一緒に行こう!

ネットで情報を見つけて出かけても、いざ現場に到着すると振る舞い方がわからない。そんな時に経験者がいれば、段取りよくコツが運び、テントの設置、炊事、食事、片付け、就寝までがスムーズ。また、経験者なら便利グッズを持っている可能性が高いので、その使用感を直接確かめるチャンスです。

2

いきなり凝ったことに挑戦しなくてもOK!

例えば、ファイヤースターターを使った火起こしなど、キャンプ上級者が嗜む焚き火術などは初心者にはハードルが高過ぎるかもしれません。初心者は「とりあえず楽しめたい」という成功体験を積み重ねることが大切です。無理に薪の火で調理をする必要はありません。カセットコンロを使った調理でも十分楽しい炊事になります。

3

虫対策は、もしもの場合にも備えよう!

自然の中に身を置けば、虫の二匹や三匹当たり前に見かけます。そんな状況なら何らかの虫に刺されたりしないとは限りません。皆さん虫除けは持っているのですが、刺された時に役立つ薬や毒液を吸い出すポイズンリムーバーもあるとより安心です。

4

出発前にシミュレーション!

最近のテントは設置と片付けが簡単なつくりになっていますが、初めてだと想像以上に時間がかかります。ですので自宅の庭などで一度設置と片付けのシミュレーションをしておく、現地での作業もスムーズ。炊事に多くの時間を割くことができます。

5

不備も受け入れよう!

キャンプ場は、家具や家電が揃った生活インフラが整った自宅とはまったく環境が異なります。いくら便利な道具を持参したところで、多少の不備はつきもの。不備さはキャンプの醍醐味だと理解しましょう。

グッズ紹介

キャンプは、ファミリーやグループで出かけるのが通例でしたが、最近はひとり楽しむ「ソロキャン」も当たり前。そこで、辻本店長からそれぞれのスタイルにおすすめのキャンプ道具を紹介してもらいました。



タフスクリーン2ルームハウス/LDX+ コールマン/99,800円

このテントはその名の通り、リビングと寝室の2ルーム構成になっていて、大人4人ならのんびりできる広さが魅力的。また、日光をしっかり遮断するコールマン独自の「ダークルームテクノロジー」により、テント内の温度上昇を抑えてくれるのも見逃せないポイントです。



トラッシュボックス(大・小)

クイックキャンプ/大:3,480円 小:2,980円

折りたたみ式のゴミ箱。市販の45Lのゴミ袋の中に収めてゴミ箱として使うのはもちろん、洗った食器を乾かす水切りラックとしても機能します。また、子どもはキャンプで服を何度か着替えることが多いので、汚れた服を一時的に置いておくランドリーボックスとしても最適。



ソロライトグリル

キャプテンスタッグ/7,700円

重量わずか950gの超軽量&コンパクトグリル。この手のグリルは40cmという一般的なサイズの薪をくべるのが困難なものが多いのですが、これなら薪を切らずにそのままくべることができます。備品としてゴトクがついてくるので、メスティンを使ったお手軽キャンプ飯も調理可能。

知っておくべき最低限のマナー

キャンプ場はとっても広いのですが、自分たち以外にもキャンパーがいるので周囲への配慮は必要。最低限守っておきたいルールとマナーは事前に把握しておきましょう。

1

ご近所さんには あいさつを

たったひと声かけておくだけで、何か困ったことが起きた時に助け合いがしやすくなります。

2

ゴミは分別しよう

ゴミ捨て場が設置されているキャンプ場もありますが、何でも捨てていいわけではありません。分別ルールを守り、捨ててはいけない種類のゴミが発生したらきちんと持ち帰りましょう。

3

焚き火の後始末を徹底

直火禁止のキャンプ場は多いです。その場合は焚き火台を使用しますが、まず地面の上に焚き火シートを敷きましょう。こうすることで焚き火の熱で地面やそこに生息する生物にダメージを与えにくくします。また、散った火の粉による延焼のリスクも抑えます。

4

消灯時間を守ろう

自然の中にいると、心が解放されてついつい夜更かししたくなるものもあります。でも、キャンプ場は自宅ではありません。消灯時間を過ぎても騒いだりしていると、ほかのキャンパーにとっては大迷惑です。

ワークショップも開催するなどして、「アウトドアってこんなに楽しいんだ」という気づきを初体験者の皆さんに与えられるよう取り組んでいます

キャンプデポ鈴鹿中央通り店 店長

辻本正幸さん

店内・スタッフ一同、感染症対策を徹底して対応しています。



information

CAMP DEPOT
鈴鹿中央通り店

鈴鹿市三日市町1039-1
TEL059-382-5705
営業時間/10:00~19:00

